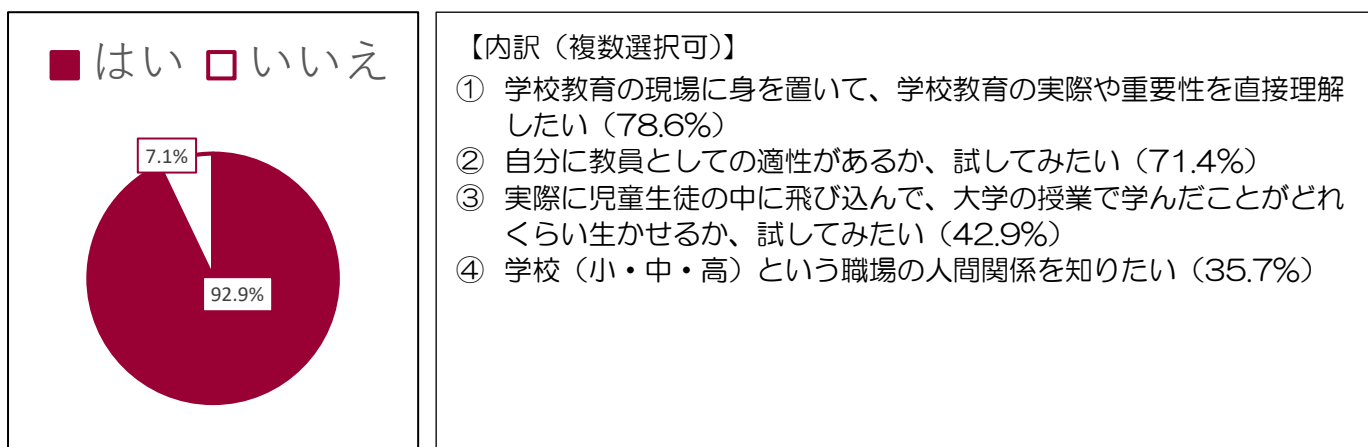


教育実習生のアンケート結果(令和4年度)

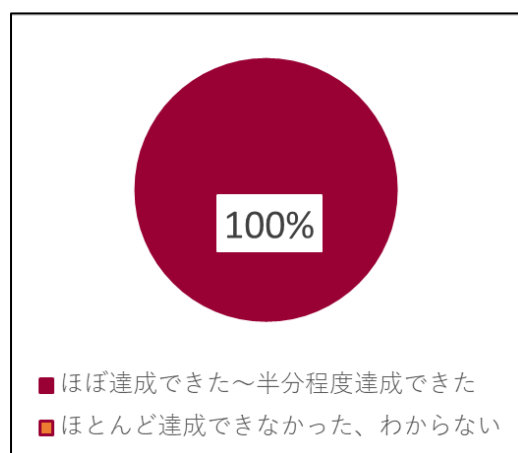
このような教育実習事前訪問・事前指導・事後指導の効果は、教育実習前後に実施されたアンケート結果に明確に表れている。令和4年度の結果では、小学校で4週間の教育実習を行った学生の場合、授業観察時間が平均72時間、授業実習時間が平均14時間であり、教職課程履修者として濃密な時間を過ごしていることがわかる。これは、事前訪問を経て、実習校と連携して綿密な指導を行った結果と言える。また、以下の円グラフに示す通り、学生たちは教育実習に高い意識をもって臨んだことも明らかである。

教育実習に目的をもって臨んだか

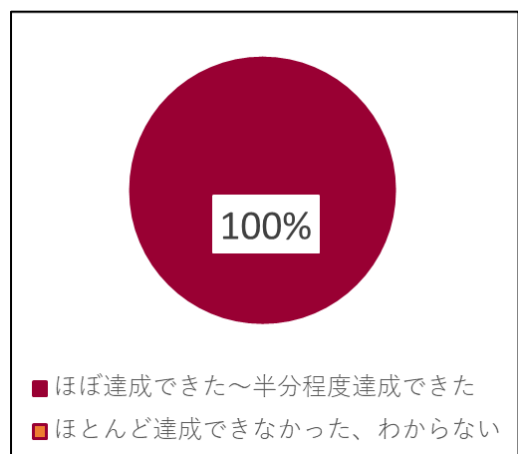


また、その目的の達成状況についても、以下のような振り返りが見られる。

学校教育の実際やその重要性を理解することができたか



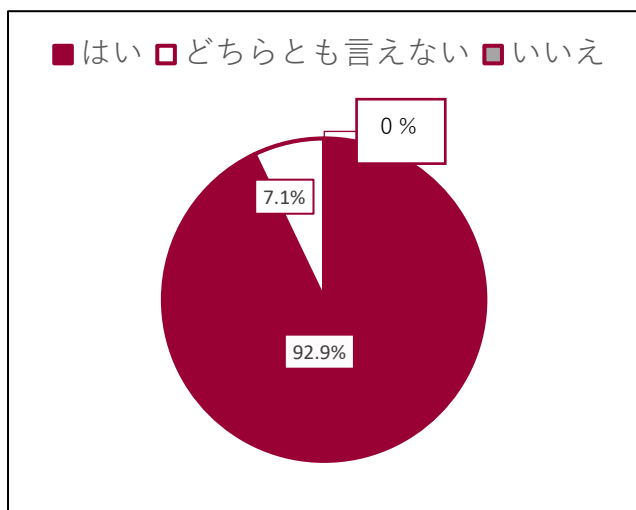
大学の授業で学んだことがどれくらい活かせるか、実際に試すことができたか



一方、アンケートでは、実習生が実習中に困ったことや、実習前に学んでおくべきだったと反省したことも報告させている。それらを整理すると、板書の仕方、指名や発問の仕方、学習指導の仕方などに関することが多い。これらの内容は、3年生以下の学生にも教育実習報告会にて伝達し、かつ、紙媒体で共有している。この取組は、3年生以下の者が実習準備を入念に進めるための動機づけにつながっているのみならず、本学教員の授業改善にも活用されている。

こういった取組の結果、教育実習の満足度や実習前後の意識変化に関しても、以下の通り、肯定的な内容が見られた。

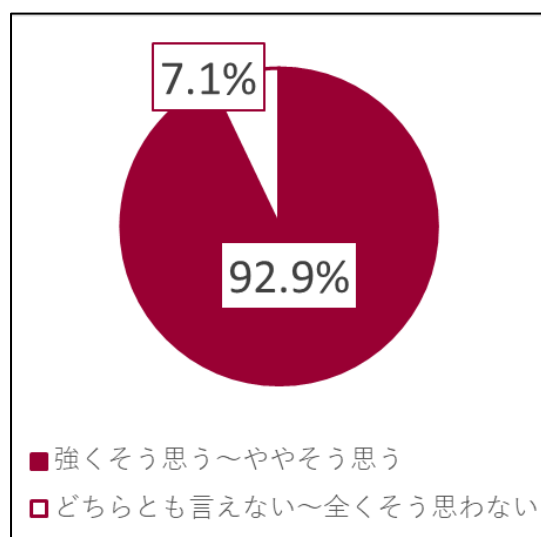
教育実習に行ってよかったと思っているか



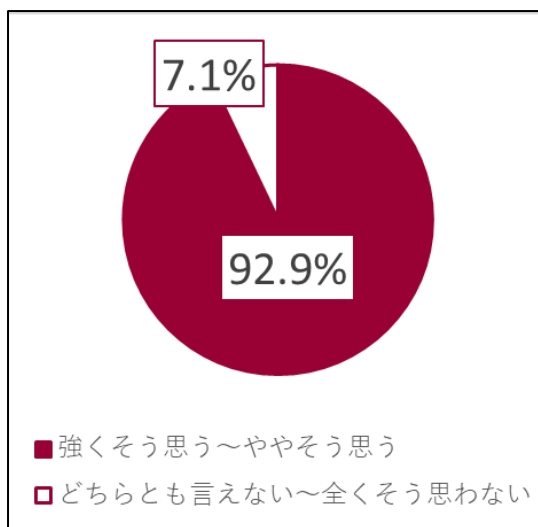
【内訳（複数選択可）】

- 大学の模擬授業だけでは得られない経験や子どもの素直な反応を感じることができたから。
- 人を育てるということや、公教育のシステムの凄さを身に染みて感じたから。
- 現場でしか学ぶことができないことが多くあり、実際に実習を行うことで自分に何が足りないのか、勉強するべきところが見えたので。
- 教員としての適性があると現場の先生方に言っていただけたため。
- 多くの学びや気づきを得ることができ、今後に生かしていきたいと思えたため。
- 4週間連続で実習をすることで、児童との関係は深まり、その関係を授業に生かすことができたため。
- 今まで気付かなかった自分の苦手なことに気付いたり、授業のつくりかたについて学んだりすることができたから。
- 教員を目指す理由を再確認できた上に、教員の仕事の大変さ、やりがいなどを学べたから。
- 教員としてだけでなく、人間としても成長できたから。

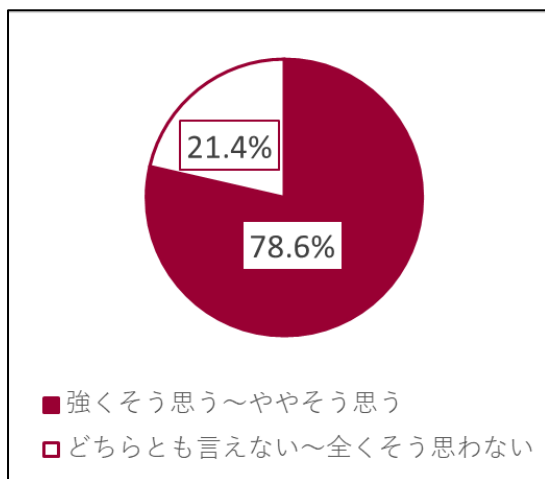
教員という職業についての理解が深まった



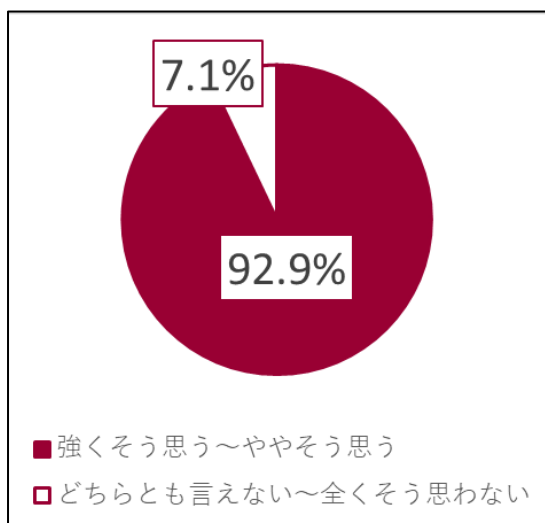
実習後、自分の学習に真剣になった



実習後、教育問題への関心が強くなった



実習後、相手の気持ちを考えるようになった



教員の仕事は、あなたに適した仕事ですか

実習前

⇒

実習後

